



ストップ・ザ・温暖化キャラクター
マスコットキャラクター
「あずびー」

令和4年度 登録クラブ一覧

41クラブ 3,406名

1 サン・パティオこども園こどもエコクラブ(20名) 幼児	22 横手南小学校(532名) 小学生
2 こひつじっこクラブ(45名) 幼児	23 神代小学校エコクラブ(145名) 小学生
3 東館保育園エコクラブ(15名) 幼児	24 秋田大学教育文化学部附属特別支援学校(6名) 中学生
4 にしだてエコクラブ(28名) 幼児	25 湯沢南中学校自然科学部(12名) 中学生
5 どれみ保育園エコクラブ(23名) 幼児	26 秋田大学教育文化学部附属中学校情報・科学部(55名) 中学生
6 十二所保育園エコクラブ(24名) 幼児	27 西目中学校エコクラブ(50名) 中学生
7 羽後明成小4年エコクラブ(15名) 小学生	28 秋田南高校中等部自然科学部(25名) 中学生
8 花岡小アルミ缶集めプロジェクト(52名) 小学生	29 羽城中学校科学部(7名) 中学生
9 西目シーガルエコクラブ(234名) 小学生	30 新屋高等学校理科学研究部(6名) 高校生
10 雄物川小学校(342名) 小学生	31 天王みどり学園高等部農芸芸班(10名) 高校生
11 横掘小学校エコクラブ(17名) 小学生	32 秋田南高等学校自然科学部(18名) 高校生
12 にしたてっ子クラブ(79名) 小学生	33 比内支援学校(20名) 高校生
13 浅舞小学校たいよっこエコクラブ(247名) 小学生	34 大曲支援学校(106名) 混合
14 大雄っ子エコクラブ(156名) 小学生	35 イオン土崎港チアーズクラブ(18名) 混合
15 角間川小学校エコクラブ(79名) 小学生	36 比内支援学校たかのす校(44名) 混合
16 醍醐小学校キラリエコクラブ(115名) 小学生	37 MV秋田緑の少年団こどもエコクラブ(23名) 混合
17 ひろおもてエコクラブ(7名) 小学生	38 イオン秋田中央チアーズクラブ(8名) 混合
18 ありうらエコクラブ(256名) 小学生	39 わくわくエコ工房(3名) 混合
19 井川教育義務教育学校自然観察クラブ(12名) 小学生	40 あきたみどりフレンド(15名) 混合
20 平沢小学校(301名) 小学生	41 せいいいエコクラブ(92名) 幼児
21 長木っ子(144名) 小学生	

発行・編集

秋田県生活環境部温暖化対策課（秋田県こどもエコクラブ事務局）
〒010-8570 秋田市山王四丁目1-1
TEL：018-860-1560 FAX：018-860-3881
E-mail: en-ondanka@pref.akita.lg.jp



リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

この冊子は1,000部印刷し、1部51.70円です。

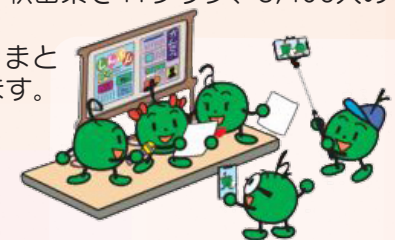


秋田県こどもエコクラブ 活動報告集2022

こどもエコクラブは、幼児から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブです。秋田県で41クラブ、3,406人のメンバーが登録し、環境に関わる活動を行いました。

この報告集は、各こどもエコクラブから今年度行った活動について報告をいただき、まとめたものです。報告には、みなさんの今後の活動の参考となるところがたくさんあります。これからの活動がさらに広く深くなるための手助けになれば幸いです。

また、県ではこどもエコクラブの新規登録を募集しています。こどもエコクラブの登録を希望する学校・団体は、県庁温暖化対策課（秋田県こどもエコクラブ事務局）までご連絡ください（巻末連絡先）。



活動紹介

1 サン・パティオこども園こどもエコクラブ(秋田市) 幼児

7月8日（金）、太平山自然学習センターに出かけました。生まれて初めて親元を離れてのお泊まり会です。虫刺され対策のスプレーをシュッと体にふりかけて、森の散策に出発。木切れを持ち帰り、リースづくりに挑戦です。朝6時に起床してお散歩。「セミの鳴き声が聞こえるよ。」「しーっ」みんなで耳を傾けてみると、鳥の鳴き声や虫の声、もちろんセミの声も。人の声は全く聞こえない、大自然の真ん中にいることを実感！



2 こひつじっこクラブ(秋田市) 幼児

3～5歳児45名の子どもたちで活動しているこひつじっこクラブ！今年で4年目になります。お気に入りのエコクラブのパンダナを巻いて、野菜作りや園周辺のごみ拾いなどのお掃除活動を頑張っています。子どもたちはエコ活動がすっかり習慣になり、お散歩先でも「せんせー、ごみあったよ～」 「空き缶、落ちてたよ～」と見つけて拾ってくるほどです。

これからも子どもたちとエコについて考え話し合う機会を大切にしながらエコに関する様々な活動に取り組んでいきたいと思っています。



3 東館保育園エコクラブ(大館市) 幼児

春に植えたサツマイモの苗に「大きくなーれ」「おいしくなーれ」とおまじないをかけ水やりと草取り。おじいちゃんやおばあちゃんに手伝ってもらった芋掘りは、掘れるたびに大歓声！そして、今年は地域の方からしゅ柿をいただき、干し柿作り。初めて使うピーラーに緊張しながら、皮がむけていく様子に「家でもお料理できそう」と得意気に。干す場所探しに風通しの良い所を見つけ毎日移動。初めての体験、味わいを堪能し、食への関心が深まった活動となりました。



芋掘り



サツマイモクッキング



干し柿作り

4 にしだてエコクラブ(大館市) 幼児

枝豆は大館の特産品です。いっぱい作りたいとの声がある？食べたいの間違いかな？そこはさておき力自慢の年長さん、次から次と手際よく抜いてくれます。園児みんなでもぎ取りして給食やおやつでいただきます。無農薬、採れたて、笑顔満載。

あまくて美味しくて大きくて、そんな願いをこめてお世話したスイカ。カラスさんにいたずらされるタイミングをみて囲いを。美味しくいただくには、いろいろ工夫をしないと、を体験できたようです。結構食べ応えある一切れに、ここでも笑顔満載。



5 どれみ保育園エコクラブ(大仙市) 幼児

どれみ保育園では、ニワトリを50羽ほど飼っています。生まれた年によって、それぞれのおうちがあり、産んでくれた卵は給食でおいしくいただきます。給食を作る時に出る野菜の皮や残渣は、米ぬかや古米と一緒に炊きニワトリのご飯として、また、ニワトリの糞尿は畑に返し、栄養たっぷりの土として再生されます。これらの仕組みをどれみ保育園の子どもたちは週1回の畑活動・エコ活動を通して楽しく学びながら実践しています。



7 羽後明成小4年エコクラブ(羽後町) 小学生

羽後明成小の4年生15名は、今年度、理科学習と関連付けながら、ヘチマのグリーンカーテンづくりに取り組みました。6月の初めに大きなプランター5個にヘチマの苗を一株ずつ植えて、グループごとに毎朝の水やりを頑張ってお世話してきました。垂直に張ったネットの網目（マス10cm）を目安に気温と成長の関係を調べたり、葉が茂ってカーテン状になったあと、陰になる部分の気温を調べてその効果を確認したりしました。今後も、グリーンカーテンづくりを通して、環境保護について考えていきたいと思います。



ヘチマのグリーンカーテン

気温測定の様子

9 西目ソーガルエコクラブ(由利本荘市) 小学生

西目小学校では、生活科や総合的な学習の時間等の学習を、SDGsにも関連させながら進めています。今年度は、校地内にピオトープを整備しました。生活科等でメダカ等の生きものを観察したり、休み時間に憩いの場として過ごしたりしています。また、本校の環境活動を牽引しているのが、科学クラブです。前庭の親水公園の清掃を西目環境保全の会の皆さんと一緒に行いました。親水公園では、全校児童が元気に自然と触れ合っています。



憩いの場 ピオトープ



親水公園の清掃

6 十二所保育園エコクラブ(大館市) 幼児

ペットボトルキャップの回収運動も5年目となり毎月1～1.2kg集まっています。同じ地区の成章中学校と連携をしている為、散歩をしながら届けることで中学生との交流の一環となっています。年長児はエコ塗り絵を活用していることで、電気を消したり残さず食べたり自分なりにできるエコに意欲的に取り組むようになってきました。また、木の積み木に触れて遊ぶことで柔らかな手触りや杉の香りに親しんでいます。小さいころからの経験の積み重ねから、まずは自分で何ができるか生活の中で子どもたちと模索しながら、これからもエコに関わっていきたいと思っています。



8 花岡小 アルミ缶集めプロジェクト(大館市) 小学生

全学年で取り組むふるさとキャリア教育、本校のテーマは「地域を元気づける花岡チャレンジ活動」。その中で3年生はアルミ缶回収を全校や地域に呼びかけました。これまで地域のみなさんご協力もあってリサイクル活動として引き継がれてきた活動ですが、3年生がアイデアを出し合い、自分たちががんばらなければと取りかかりました。今年の3年生は、毎日のように昼の放送で回収を呼びかけたり、持ってきたみなさんに感謝を伝えたりと、張り切って活動しました。地域の方にも校報を通じて校内の取組が発信され、たくさんのご協力をいただいております。



今回もこんなにたまったぞ



業者さんにはお世話になってます

10 雄物川小学校(横手市) 小学生

雄物川小学校では毎年、主に環境・ボランティア委員会が中心となり、全校児童でアルミ缶・プルタブ回収と花壇整備に取り組んでいます。今年度も、月に1回程度玄関ホールで回収を行いました。収益金を活用して、車椅子等を購入し、年度末に社会福祉協議会を通じて地域の福祉施設に贈る予定です。また、花壇への水やりや草取り、校内外の清掃を定期的に行い学校の美化に協力することができました。これからも、地域や学校のためになることを考えて活動していきたいと思います。



プルタブ回収 地元企業からも協力



玄関前プランター水やり

11 横堀小学校エコクラブ(大仙市) 小学生

本校では、総合的な学習で「ふるさとの魅力に気付く体験活動」を実施しています。3年生は学校周辺のクリーンアップをしました。4年生は地域のお年寄りの施設等に育てた花を届けました。5年生は田植えや稲刈り、米販売体験をしました。6年生は「ふるさとでできること」をみんなで実践しました。また、児童会を中心にSDGsの取組として、自分たちにできるエコ活動について話し合い、「横堀版SDGs」活動を広げようとしています。



3年生クリーンアップ作業



4年生プランターへの花植え作業

13 浅舞小学校をいよこエコクラブ(横手市) 小学生

全校児童245名で「ひまわりプロジェクト2022」に取り組んでいます。6月に全校で種まきをしました。種を今年も鳥に食べられてしまい、5年生が念のため育てていた苗を植えました。秋には、学区内の保育園や近隣の支援学校、老人福祉施設の方々に協力して栽培していただいた種に加え、各家庭で育てた種も収穫しました。12月には協力していただいた地域の方々に招待して「ひまわり集会」も開催できました。ひまわりを中心に地域と連携を強くし、環境への意識を深めています。



苗を植え直す



活動の学びを発表

15 角間川小学校エコクラブ(大仙市) 小学生

角間川小学校では、全校79名が自然に親しみ、エコ委員会の呼びかけを通して身近な環境を守る活動に取り組んでいます。全校での学校花壇やサツマイモ畑、緑のカーテンの植物栽培活動を行いました。暑い夏の日差しを浴びて、2階に届く立派なカーテンに成長してくれました。小さい種から大きな花を咲かせる生命の素晴らしさを感じました。エコ委員会では、エコキャンペーンとしてアルミ缶回収を呼びかけ、SDGsを意識して、自分ができることを放送で紹介したり、節水・節電等のポスターを作って全校児童へ呼びかけたりしています。



サツマイモの苗植え



学校花壇にペコニア植え



朝顔のカーテン

12 にしとこ子クラブ(大館市) 小学生

今回は、「かつて地域で盛だったぶどう作りを応援したい!」と昨年度設立された「KGPクラブ」の活動を紹介します。ぶどう農家の協力のもと、手入れや草取り、収穫などの体験をさせていただくとともに、今年度は水害による復旧のお手伝いもしました。この体験を通して、自然や環境の変化について自分事として考えることができ、「今後も自分たちができることを通して地域の役に立ちたい」と、子どもたちは話しています。



ぶどうの栽培について教わりました



いよいよぶどうの収穫

14 大雄コ子エコクラブ(横手市) 小学生

大雄小学校では、総合的な学習で「飛び出せ!大雄っ子活動」を行っています。4年生は、地域特産のホップ栽培に取り組み、グリーンカーテンの効果を確かめました。5年生は田植え・稲刈りを体験し、米販売を行いました。また、6年生は、横手の発酵文化について調べたり、味噌づくりに取り組んだりしました。今年も地域の産業や食文化に触れ、食べ物についての関心が高まり、大切にしていこうという思いが高まりました。



4年生ホップ収穫体験



5年生米作り体験



6年生味噌作り体験

16 醍醐小学校キラリエコクラブ(横手市) 小学生

リンゴの里で有名な醍醐小学校のキラリエコクラブです。今年度も、中庭のピオトープの整備をし、長いすを設置しました。今年も水棲植物がよく育ち、クロメダカやヤゴが繁殖したので、児童は生き物観察に親しみながら、憩いの場として利用していました。また、全校でアルミ缶のリサイクルを行い、その収益金で地域の老人福祉施設へ花を贈ることができました。このような活動を通して、自然や地域を大切にすることを育っています。



中庭のピオトープ「ザ・池」の掃除をする児童



アルミ缶のリサイクル活動で重さを計測している環境委員会の児童

17 いちもエコクラブ(秋田市)

小学生

秋田市広面地区を中心に、クリーンアップや自然観察、環境学習などを行い、活動成果を壁新聞にまとめ、エコ活コンクールにエントリーしました。令和4年3月には、こどもエコクラブ全国フェスティバルに県代表として参加することができ、全国の仲間たちと交流を深め、最近のクラブや企業の環境活動について多くを知ることができました。今後も子供たちの気づきを大切にしながら、身近なところから活動の幅を広げていきたいと思います。



18 ありうらエコクラブ(大館市)

小学生

6年生の理科では、タブレットを用いて「人が動いたら明かりがつき、いなくなったら消える」等の条件を設定するプログラミング活動を行い、生活で目にしている節電の仕組みを学びました。全校では、「タイフェスティバル」に向けロイクラトンづくりをしました。作り方を学んだ6年生が、下級生に紙のクラトンの作り方を教えました。他国の文化や考えを知るよい機会となりました。



プログラミング活動の様子



縦割り班で紙クラトン作り

23 神代小学校エコクラブ(仙北市)

小学生

私たちは、仙北子どもサミットで話し合った「仙北っ子の約束」をがんばっています。今年も、ふるさとのよさを守る活動として、緑化活動や自然体験学習などを行いました。また、「50年後の自分のために50年後の仙北市のために 今私たちができることを」をテーマにしたSDGsにも取り組んでいます。私たちの活動に、地域の方々もたくさん応援をしてくれました。



いぶりがっこづくり体験



田沢湖でカヌー体験



花のいのちを育む活動

24 秋田大学教育文化学部附属特別支援学校(秋田市)

中学生

中学部ファーム班は、農園芸を通して働く力の育成を目指した作業学習のグループです。今年は、創立50周年の記念花壇づくりに取り組み、種から育てたヴィオラとパンジーの苗を約800本定植しました。デザインは全校児童生徒から募集し、虹をモチーフにしています。今後も、「みんなのためのファーム班」を言葉に、花いっぱい学校づくりに励んでいきます。



花の苗植え



花壇の様子

19 井川義務教育学校自然観察クラブ(井川町)

小学生

今年度も地域の先生に教えていただきながら「井川の水質調査」「カヌー体験」「竹とんぼ作り」など、自然と触れ合う体験を行うことができました。子どもたちからは、「地域の先生に教えてもらい、新しい発見がたくさんあった」「ふだんなかなかできない活動に取り組むことができて楽しかった」などの声が聞かれました。これからもふるさと井川の自然を大切にしていきたいと思っています。



井川に入り、水質評価の指標となる生物を採取しました。



日本国花苑の堤でカヌーにのりました。

20 平沢小学校(にかほ市)

小学生

児童会本部委員会では、玄関ホールでブルタブとエコキャップの回収活動を行いました。環境委員会は、各学年の水飲み場の節電状況を毎日昼の放送で紹介し、校内の節電を呼びかけています。夏のエアコンや冬のストーブは設定温度を守るようにして、適度に換気を行いながら使用しています。他にも、教室や廊下の照明の節電や加湿器の弱運転、週末には待機電源を落とすなど、全校を挙げて省エネ活動に取り組んでいます。



ブルタブ回収

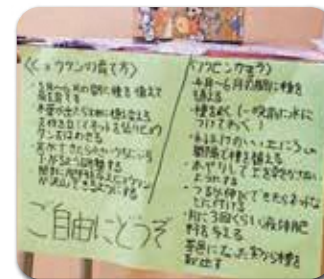


回収したブルタブとエコキャップ

25 湯沢南中学校自然科学部(湯沢市)

中学生

自然科学部では緑のカーテンの普及を目指しています。今年度もヒョウタンとフウセンカズラの緑のカーテンを作りました。今年、湯沢南中学校では湯沢市の公開研究会が行われ、研究授業を参観しにきてくださった先生方に収穫したヒョウタンの種をプレゼントしました。今年は夏の雨の影響で、ヒョウタンの生育が悪く皮の薄いヒョウタンになりました。温暖化などの気候変動が作物の生育に影響を与えることを、実感することができました。



種子のプレゼント



ヒョウタンランプ

26 秋田大学教育文化学部附属中学校情報・科学部(秋田市)

中学生

私たち情報・科学部では、「環境に優しいプラスチックの製造」をテーマに研究活動に取り組みました。SDGsの14番「海の豊かさを守ろう」、15番「陸の豊かさを守ろう」と深く関わる内容です。牛乳などのタンパク質からつくるプラスチックは、いずれ微生物に分解され自然に返っていく最高の素材です。しかし、何度実験を繰り返しても、硬度も手触りも、まだまだ未完成です。今後も納得できるまで、継続して研究を進めていきます。



柔らかいプラスチックを型にはめ込んでいる様子



電子レンジで加熱し水分を飛ばしたプラスチック

21 長木コ子(大館市)

小学生

今年度もエソタンボの群生地の発見を契機とした「エソタンボプロジェクト」を継続して実施しました。今年度の特色は、地域の有志の方々が、「長木小応援チーム」を結成し、子どもたちと一緒に活動してくださったことです。昨年度から地域で始まった「あじさいレールロード10年プラン」でのあじさいの植栽、学校農園でのトウモロコシやサツマイモの栽培などを通し、地域の方との絆がよりいっそう深まり、地域を大切にしているという気持ちを強くしました。



あじさいレールロード10年プラン



焼きいも大会

22 横手南小学校(横手市)

小学生

本校では、全校児童で一人一鉢運動を行っています。6月初めに1年生と6年生、2年生と4年生、3年生と5年生が組になって、ペゴニアの苗を鉢に植えます。学年で交流しながらの楽しい作業です。その後、水やりなどの世話をしながらペゴニアを育てていきます。そして、秋には自然大好き委員会が中心になってコンクールを行い、大きく育ったものや、きれいな花がたくさん咲いたものなど、学年ごとに上手に育てた人を表彰します。



ペゴニアの苗植え作業



ペゴニア一人一鉢コンクール審査

27 西目中学校エコクラブ(由利本荘市)

中学生

西目中学校では、昨年度より「秋田県SDGsパートナー」に登録されて、生徒会や委員会、総合的な学習の時間を中心に活動を進めてきました。1年生は、総合学習のテーマを「環境・エネルギー」として、地域のクリーンアップや緑化事業、調査活動に取り組んでいます。これからも西目海岸に建設予定の洋上風力発電、海洋プラスチックやごみ処理などの課題について、みんなで考えていきたいと思います。



海岸クリーンアップ活動



総合習岸の発表から

28 秋田南高校中等部自然科学部(秋田市)

中学生

私たちは5つの班がそれぞれのテーマで活動をしています。植物班は「オクラのネバネバ成分」を調べるため、苗からオクラを育てました。残念ながら収穫できた数が少なかったため、当初のテーマを変更して、オクラを使って紙すきをしました。紙の繊維同士を接着させるためにオクラから抽出した「ねり」を使用しました。今後は、最初に作った紙より薄く滑らかなものを作るため研究をしたいと思っています。



29 羽城中学校科学部(潟上市)

中学生

私たちは、身の回りの環境に目を向けてみると、学校の敷地内にどのような植物が育っているのかを調査しました。いつも目にしていても、名前の分からない樹木などがたくさんありました。4つのエリアに分けて調査した結果、名前が分かっただけでも50種類もあり、私たちは実にたくさんの植物に囲まれていることをあらためて知り驚きました。そして、これらの植物をもっと大切に恵まれた環境を持続させていきたいと考えました。



学校祭でレポート展示



学校のシンボルツリーのケヤキ



みんなでレポートづくり

30 新屋高等学校理科研究部(秋田市)

令和4年度環境教育支援校

高校生

秋田市大森山動物園塩曳潟や本校付近のため池で、在来種調査と外来種駆除を行いました。今後も継続的なモニタリング調査を行い、ゼニタナゴやシナイモツゴなどの在来種の保全に努めていきたいと思っています。

また、外来種の駆除活動と平行して、アメリカザリガニの肥料化に向けた研究にも取り組み始めました。肥料価格の高騰が深刻な問題となっているので、その解決の一助となるよう、良い成果を導きたいと思っています。



モニタリング調査



絶滅危惧種ゼニタナゴ



動物園や秋田水生生物保全協会と連携活動

31 天王みどり学園高等部農園芸班(潟上市)

令和4年度環境教育支援校

高校生

花壇と畑の活動の両輪で、働く力や地域貢献することの大切さについて学習しました。花壇では生徒と職員が協力して、秋田県学校関係緑化コンクールで知事賞を受賞することができました。また、潟上市内の公共施設にプランターをプレゼントする活動を行いました。畑では、私たちが栽培したトマトを本校の食品加工班がジャムにしたり、ラベンダーをエコ・クラフト班がかおり袋にしたりして他班とも協力して活動できました。



花壇の手入れ



さつまいもの収穫

32 秋田南高等学校自然科学部(秋田市)

令和4年度環境教育支援校

高校生

近年、マイクロプラスチック（以下MP）による海洋汚染が世界的に深刻な問題になっています。本校自然科学部は河川から流出したものが海洋MPの主な原因と考えて、猿田川内のMPの研究を行っています。2022年度の研究では劣化しやすいプラスチックの種類を調べ、猿田川のコイの体内からMPを発見しました。また、土壌中のMPの堆積と降水量に相関があることもわかってきました。今後は、さらに猿田川の様々な地点の研究を検討していきたいと思っています。



土壌調査の様子



捕獲したコイ



分析の様子

33 比内支援学校(大館市)

令和4年度環境教育支援校

高校生

高等部3年生20名は、SDGsの環境分野に注目し、校内外への発表や学校周辺のクリーンアップ、裏紙再生メモ帳作り、間伐材再利用ベンチ作りなどを行いました。クリーンアップは、学校から達子森の頂上までの道を、手分けして清掃活動。路上には、空き缶や空き瓶、ペットボトル、たばこの吸い殻などのごみが落ちており、驚きながらも積極的に清掃活動に取り組みました。今年の活動を通して、SDGsや地域の環境への関心が高まり、自分にできる身近なことから取り組んでいこうという気持ちが育っています。



協力して取り組んだクリーンアップ



34 大曲支援学校(大仙市)

令和4年度環境教育支援校

混合

今年度は、全校児童生徒による大クリーンアップを行いました。当日は婦人会や地域の企業等の皆様にも協力していただき、本校周辺の道路の他に、駅前や商店街、公園などをクリーンアップしました。全員で街がきれいになる様子を励みにしながら活動し、全部で23.4kgのごみを拾いました。地域をきれいにすることで、日頃の感謝の気持ちを表すことができました。



地域の方々と一緒に活動しました



大曲の花火会場をきれいにします

35 イオン土崎港チアーズクラブ(秋田市)

混合

私たちは、小1から中3までのメンバーで活動しています。毎年、草木谷の田植えや稲刈り、白神産地の植樹等していましたが、今年度も残念ながら集まらなかった活動は出来ませんでした。2022年度もお家でチアーズを中心に活動し、「私の考える地球に優しい暮らし方川柳コンテスト」、「おさかないっぱいサンゴの海の絵☆大募集」企画に参加しました。これからも身近な環境問題に関心をもち、今まで活動を通して学んだことを実践していきたいと思っています。



リサイクル
しげやんは
分別だ

37 M.V.秋田緑の少年団子どもエコクラブ(秋田市)

混合

コロナ禍で活動に制限で断念したことが、今年は実施できたことがうれしいです。

1. 岩手緑の少年団大会に参加し、植樹や体験・クイズで八幡平の森を散策できたこと。
2. 3年目で登れた「森吉山」は、天候に恵まれ良かった。
3. 獅子が鼻湿原で、クマの毛を見つけた！森って危険がすぐそこにある。ブナの実を美食、ピーナツのようなアーモンドのような味がした。



森吉山に登ったよ！



獅子が鼻湿原で木に登ったよ！

36 比内支援学校をかのす校(北秋田市)

令和4年度環境教育支援校

混合

本校では、全校で、学校内外、地域をきれいにする清掃活動に取り組みました。中学部と高等部が合同で取り組んだ除草ボランティア活動では、新たに地域の人が使う公民館等の除草・清掃活動に取り組み、地域の方に直接感謝されるとともに、今後自分たちも地域の施設を気持ちよく使いたいと思う活動になりました。また、小学部も毎朝清掃に取り組んでおり、全校の縦割活動「若たかタイム」では力を合わせて校内をきれいにすることができました。これからも、きれいな学校、地域で気持ちよく過ごせるよう、みんなで頑張ります。



38 イオン秋田中央チアーズクラブ(秋田市)

混合

2021年度の壁新聞で＜奨励賞＞を頂いたので山形県加茂水族館と災害学習館へ行きました。生き物の生態や災害時にはどうやって身を守るかを学んできました。環境川柳にも参加し、銀賞1名、銅賞1名受賞しました。水質調査では市の方のご協力で水について詳しく知ることが出来ました。楽しみにしていた白神山地の植樹体験も汗だくになりながら頑張って植樹しました。自然・環境について楽しく学んだ1年でした。



県内壁新聞紹介(全国エコ活コンクール応募作品)

全国のこどもエコクラブや、環境活動をしている子どもたちのグループ、個人が全国のみんなにエコ活動の成果や感じたこと・気づいたことを壁新聞や絵日記にまとめて伝える「全国エコ活コンクール」。今年応募の県内壁新聞です。

17 ひろおもてエコクラブ



子どもたちからの アピール ポイント

私達は、自然を大切にしたり、学んだりする活動をしています。例えばホタルが住みやすくなるように水路のアメリカザリガニをつつてきれいにしたり、ごみ拾いをしたり、山や川に行つて自然観察をして遊んだり、学んだりしています。1月には、伝統行事の三吉梵天祭に梵天を奉納しています。私達のクラブでは、幼稚園～小学校6年生が集まって、仲良く活動しています。興味のある人は体験できるので、ぜひ参加してほしいです。

サポーター からの メッセージ

今年こそは休止する月がないようにと願いましたが、何回かはコロナの影響のため、場所の変更、休止などがありました。そんな状況ではありましたが、壁新聞づくりは、ほぼ全員が参加して取り組む貴重な回となりました。毎年、今回はどんな構成にするか話し合うところから始まり、いろいろなアイデアを出し合つて、このレイアウトになりました。特に注目すべきは、皆さんに伝えたいことを上に大きく書き出したこと、また、あちこちに散りばめたカットも皆で作った成果です。

37 MV秋田緑の少年団こどもエコクラブ



コロナで中止になったりしましたが、たくさんの体験ができました。岩手はいつもちがった体験ができるので楽しみです。3年ぶりに森吉山に行くことができてよかったです。大学生と一緒に遊んでくれました。やさしく教えてくれたので、良かったです。

子どもたちからの アピール ポイント

そろそろいろいろな活動が正常にもどって欲しいと思っています。でも無理はできないので、少しずつ……。制限のある中でも活動が続いているのがうれしいです。やっと森吉山に行けたこと、獅子が鼻湿原にも行くことができました。

サポーター からの メッセージ



「環境教育」に関する秋田県の主な事業

★各事業の詳細はWeb検索から！

こどもエコクラブ支援事業	こどもエコクラブの登録、活動、コンクールの参加等を支援するほか、新規会員に対し秋田県オリジナルパンダナの提供や、こどもエコクラブ全国フェスティバル受賞メンバーの旅費の負担をします。登録用紙をこどもエコクラブ全国事務局に提出することにより、参加でき、登録・年会費等は無料です。
環境教育支援校	全県から応募のあった小・中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校から10校程度を環境教育支援校として指定し、環境教育に必要な器具類を3万円程度まで無償提供します。毎年2月頃に募集しています。
観察・実験器具の貸し出し	環境に関する学習で活用できる観察・実験器具等を貸し出します。貸し出しにかかる費用は、送料等を除き無料です。随時、県温暖化対策課で受け付けています。
あきた環境学習応援隊	環境教育に関する講師の派遣や教材の提供、環境学習会や施設見学の受け入れなどを行っている企業や団体（22事業所等）を紹介しています。見学等は企業等にご連絡ください
地域の環境活動支援事業	市町村、学校及び住民団体等が主催する講演会や学習会等に、環境保全団体・環境保全に関する講師を無料で派遣します。理科や社会科、総合的な学習の時間の授業等でも御活用ください。環境あきた県民フォーラムにお申し込みください。(TEL018-853-6755)
環境大賞	個人、学校教育関係機関、団体で行っている、他の模範となる環境保全活動を知事表彰しています。毎年6月に教育委員会から募集案内しているほか、県ウェブサイトに掲載しています。
あきたエコ&リサイクルフェスティバル	ステージイベント、出展ブース、体験コーナー等で、楽しみながら環境やエコについて学ぶことができます。皆様ぜひ会場に足をお運びください。ブース出展については、県温暖化対策課にご相談ください。

第20回あきたエコ&リサイクルフェスティバル

令和4年10月8日（土）～9日（日）秋田拠点センターアルヴェ 1階きらめき広場



展示等の全体図



超神ネイガーのエコクイズ



秋田工業高等学校の木育活動体験



エコドライブシミュレーター体験